

取組事例発表

学会発表で登壇しました。

2023年度廃棄物資源循環学会春の研究討論会にて

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場 太一郎)は、2023年5月25日、26日に開催された、2023年度廃棄物資源循環学会春の研究討論会に参加し、「官民連携による一般廃棄物の適正処理」というテーマの中、私たちの取り組み事例について発表をさせていただきました。

■廃棄物資源循環学会春の研究討論会について

廃棄物資源循環学会は毎年5月の末のころに春の研究討論会として各々のテーマについて産学官に関わらず様々な方がご自身の研究内容を発表し、その内容について議論を行う場として昔から活発な意見交換が行われてきました。春の研究討論会は廃棄物資源循環学会に属する各部会が各々のテーマについてセミナーブロックを設け、発表者を募る形をとっており、今回は産廃研究部会と廃棄物計画研究部会の共同開催として「官民連携による一般廃棄物の適正処理」というテーマで発表のお話をいただきました。

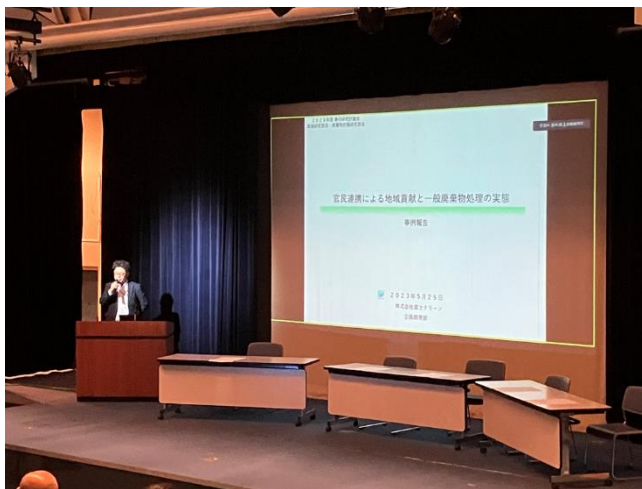
■発表について

当社の発表については企画開発部の町川より発表をさせていただきました。内容につきましては、今までに当社が取り組んできた官民連携の実績をもとに事業を進めていく上での困ったことなどを交えながら事例紹介をさせていただきました。

発表後は登壇者全員と廃棄物計画研究部会会長でコーディネーターの北海道大学石井一英教授を交えたパネルディスカッションを実施しました。

パネラーには民間企業3名(内1名が当社)、行政が1名参加しており、各々の立場から見えることや事例に基づいた意見交換を実施し非常に有意義な場となりました。

閉会挨拶では産廃研究部会長の芝浦工業大学袖野玲子教授より「昔は一般廃棄物の処理に民間企業が入ってくることはタブーだった。時代は変わってきた」とのお言葉をいただきました。当社としても変わりゆく時代に順応し、地域の皆様とともに適正な廃棄物処理について考えていく所存であります。今後も当社は、地域が抱える課題を解決するために、様々な事業に取り組んでまいります。



本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com